

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	21-028	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Pharmacotherapy for alcohol use disorders - Unequal provision across sociodemographic factors and co-morbid conditions. A cohort study of the total population in Sweden 社会人口学的要因と併存疾患によるアルコール使用障害の薬物治療の不平等な提供状況：スウェーデンの全国的なコホート研究：		
執筆者		
Sara Wallhed Finn , Andreas Lundin , Hugo Sjöqvist , Anna-Karin Danielsson		
掲載誌		
Drug Alcohol Depend. 2021 Oct 1;227:108964. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2021.108964.		
キーワード		PMID
アルコール使用障害、併発症、薬物治療、社会人口学的		34518028
要 旨		
目的： アルコール使用障害（AUD）への薬物療法は効果的だが、処方に関する患者の特徴や利用状況の知見は乏しい。スウェーデンでの一定期間、社会人口学的、居住地と併存疾患を踏まえたAUDに対する薬物治療の処方状況を調査する。		
方法： 2007 から 2015 年間の AUD 診断された 132,733 人の成人患者を対象とした全国的なコホート研究で、曝露変数は年齢、性別、収入、学歴、家族構成、居住地、出身国、精神疾患や身体的疾患の併存疾患とした。ロジスティック回帰分析を使用し、AUD 診断後、12 か月間での薬物療法（アカンプロサート、ジスルフィラム、ナルトレキソン、ナルメフェン）のいずれかの処方に対するオッズ比（OR）を算出した。		
結果： 調査期間中、薬物療法を受けた患者の割合は 22.80 から 23.94 % ($\chi^2(64) = 72.00, p = .23$)。女性、31-45 歳、高学歴、高収入、大都市の居住、同居者あり、スウェーデン出身は薬物治療の高オッズ比と相関があった。身体的疾患を併発しているものでは薬物治療の受療が低く（aOR = 0.61 95 % CI 0.59-0.63）、精神疾患を併発している状態では薬物治療の受療が高かった（aOR = 1.61 95 % CI 1.57-1.66）。		
結論： AUD の薬物治療は十分に活用されていない。2007 から 2015 年間で処方率は変化が無かった。治療薬の提供は、社会的に異なるグループ間で不均衡があり、特に高年齢、低所得層、低学歴層、身体的疾患を併発しているもので処方率が低かった。特に身体的疾患併発状態患者への治療薬供給方法を改良する必要がある。		